がん化学療法治療計画書　膵癌 -(8) 2022.1

担当医/指導医	/
目的	□ 積極的治療　□ 症状緩和 □ 術前補助　□ 術後補助
告知程度	□全告知 □部分告知 □未告知
告知内容	□ 癌(原発 ・ 再発 ・ 進行) □ 抗癌剤を使用する
服薬指導	□ 依頼する 看護師(　　) 薬剤師(　　)
HBV感染スクリーニング	□ 確認済み

身長:　　cm	体重:　　Kg
体表面積	m^2

膵癌　オニバイド+5FU/ℓ-LV療法　1コース2週間

投与開始日　　年　　月　　日　　コース予定

- オニバイド　70mg/m^2　Day 1　計算量:　　mg　投与量:　　mg
  (nal-IRI : 一般名リポソーム化イリノテカン、商品名オニバイド)
- レボホリナート　200mg/m^2　Day 1　計算量:　　mg　投与量:　　mg
- 5-FU(持続静注)　2400mg/m^2　Day 1～3　計算量:　　mg　投与量:　　mg
  (5-FU : 一般名フルオロウラシル、商品名フルオロウラシル)

【投与スケジュール】

Day1～3	1) パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg/50mL	1V		15分
	デキサート注射液1.65mg	6A		
	2) 5%TZ　500mL	1V	遮光 フィルター使用しない	90分
	ブスコパン注　20mg	1A		
	オニバイド　(　　)mg			
	3) 生食　50mL	1V		2)のルートフラッシュ
	4) 5%TZ　250mL	1V		2時間
	レボホリナート　(　　)mg			
	5) 生食　100mL	2V	全量230mLになるように、生食の量を調節	インフューザーポンプ 46時間
	5-FU　(　　)mg			
	6) ﾍﾊﾟﾘﾝNaﾛｯｸ用10単位/mLｼﾘﾝｼﾞ10mL　1A			

【Day2，3の内服薬】※症状に応じて省略可

Day2，3	デカドロン(4mg)	2錠	分2 朝・昼食後	2日間

【減量時の投与基準】

	本剤(イリノテカンとして)		フルオロウラシル
開始用量	70mg/m^2	50mg/m^2	2400mg/m^2
1段階減量	50mg/m^2	43mg/m^2	1800mg/m^2
2段階減量	43mg/m^2	35mg/m^2	1350mg/m^2
3段階減量	中止	中止	中止

※UGT1A*6若しくはUGT1A1*28のホモ接合体を有する患者、又はUGT1A1*6及びUGT1A1*28のヘテロ接合体を有する患者では、イリノテカンとして1回50mg/m^2を開始用量とする。なお、忍容性が認められる場合には、イリノテカンとして1回70mg/m^2に増量することができる。